

松本深志舞台
保存会だより『16』

お囃子指導者 10年表彰

去る5月28日、松本深志舞台保存会の令和元年度定例総会が開催されました。平成30年度の事業・決算報告と、新年度の事業計画・予算案が審議され、無事に承認されました。

今年の総会では「舞台庫改修検討委員会」の設置が決まりました。平成の舞台修復事業により、深志舞台はすべて改修され、創建当初の姿を取り戻しましたが、舞台庫は古いままで地震をはじめとした自然災害が

気になるところです。せっかく修復した舞台が、舞台庫とともに灰燼となつては堪りません。検討委員会の設置により改築を含めた舞台庫の耐震化が具体的に検討されることになります。

以来昨年まで11年間、10人の指導者は毎年欠かさず参加され、数多くの子供たちにお囃子を伝授していただきました。スケール受講者は、延べ996人にのぼります。



記念写真撮影用台の ご案内

お蔭で7月25日の深志神社例大祭では、毎年神楽殿において子供たちのお囃子発表会が開かれ、舞台曳行に際にも町に賑やかな太鼓の音が響くようになっています。

舞台保存会としましては10年表彰を行い、そのご尽力に深い感謝の意を表しましたが、さらに多くの人達に、松本の祭囃子に関心を持つてほしいとなつています。



ふかし 深志神社社報 第22号

発行日 令和元年(2019)6月25日
発行所 深志神社社務所
〒390-0815
松本市深志3丁目7番43号
電話 0263-32-1214
FAX 0263-32-5908
<http://www.fukashi-tenjin.or.jp>

印 刷 (株)日本広告



The image shows a vertical calligraphic signature in bold, dark blue ink, reading "ふかし". Above the signature, there are two decorative motifs: a red stylized flower or crest on the left and a green leaf-like crest on the right. The background is plain white.

采志神土社報

第
22
号

令和元年夏号
深志神社は信州松本城下
南深志の地四十八ヶ町
氏子の守り神さまです

新たな「令和」の御代を 寿ぎましょう

このたびの御譲位による御代

替りとなる五月一日 新元号は「令和」とあらためました。

ある、「初春の令月にして、氣泡く風和ぎ、梅は鏡前の粉を披きで、「新春の好き月、空気はうるわしく風はやわらかに、梅は美女の鏡の前に装う白粉のごとく白く咲き」の意味です。初の国書由来の元号になります。

厳しい寒さの後に春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のよう、一人一人の日本人が、明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができることであります（安部首相談話）。

「梅花の歌三十二首」とは、玉平二年(七三〇)正月十三日に大宰府の長官大伴旅人おおともたびとが、自邸

に人々を招き、庭園の梅花を鑑賞する宴を開きました。その参加者は三十二人がひとり一首ず



深志神社の神さまが、年に一度、町内を巡られます。どうぞお迎えください。

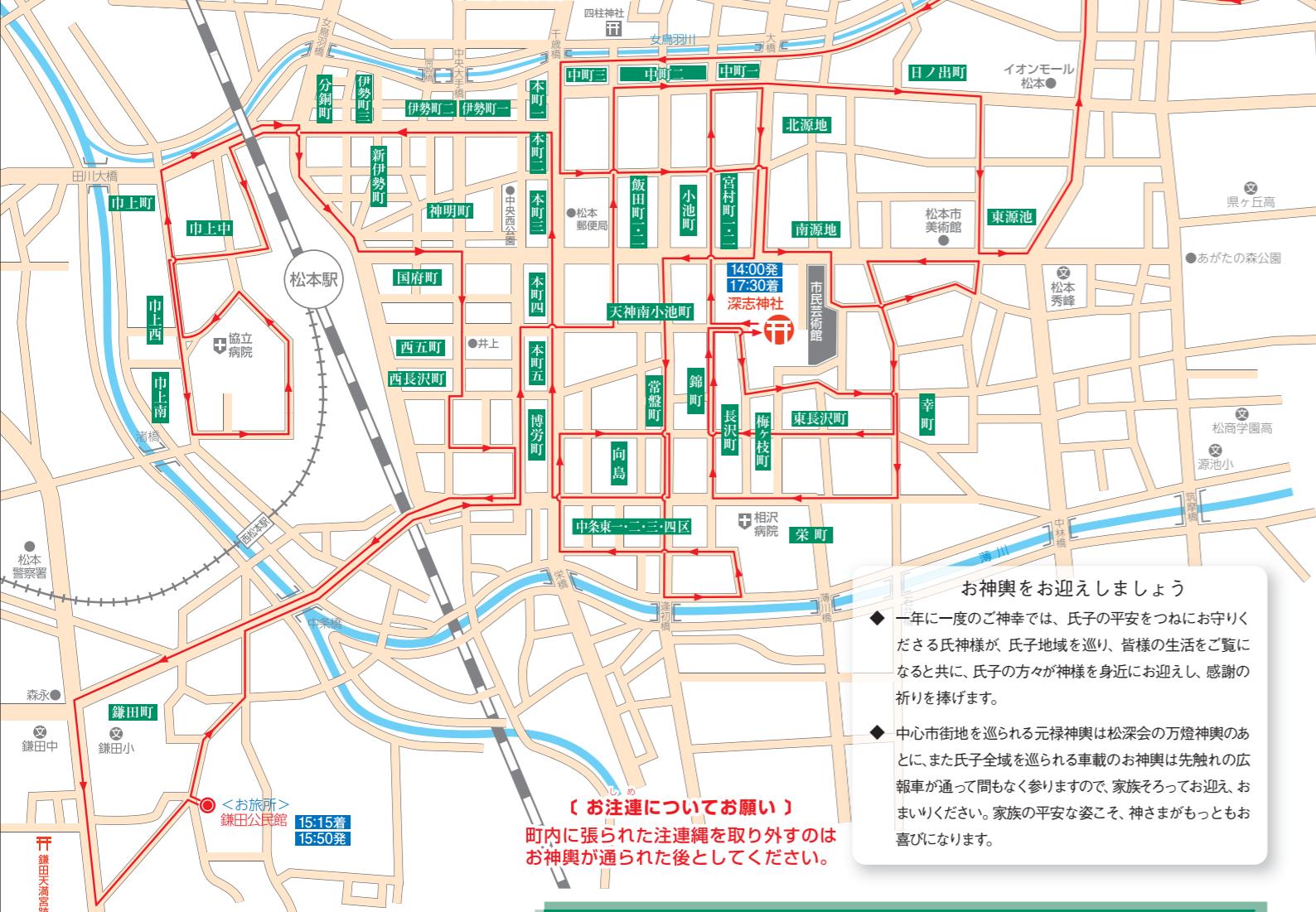
令和元年 深志神社例大祭(天神祭り)

御神幸式 神輿渡御巡路A(車載) 天満宮神輿

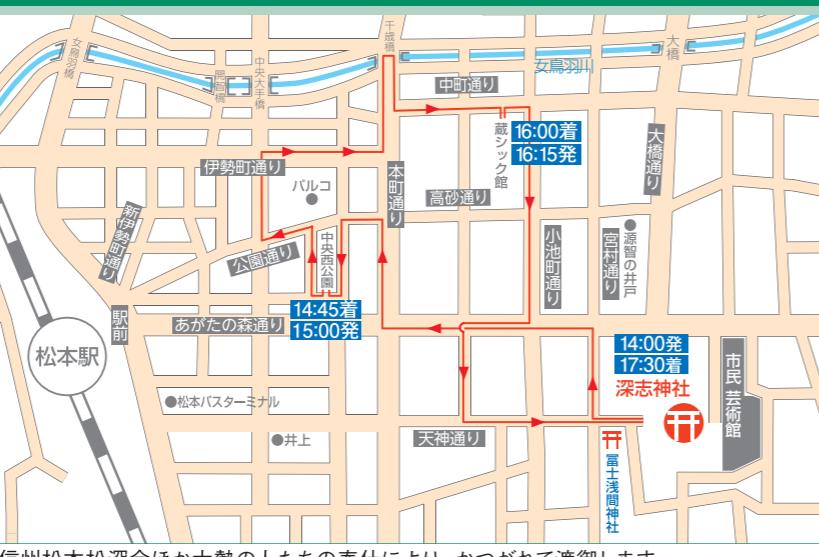
7月25日(木) 午後2時～5時30分

自動車による神輿渡御巡路は西(鎌田)先回りと東(清水)先回りとが隔年となります。

本年は西(鎌田)先回りです。



元禄神輿渡御巡路B 宮村宮神輿



神輿かつぎなどを
奉仕しませんか?

天神祭りのご神幸(25日)で、
神輿をかつぐ方や威儀物(神様
をお守りする楊枝や鉢など)をも
つていただきの方(神輿渡御奉仕
員)を大募集!! 女性も歓迎。氏子
や、その他どなたでもお祭りに
ご奉仕できる貴重な機会です。
ご希望の方は神社までお申し込
みください。



【前夜祭】7月24日(水)

17:00～ 舞台曳き込み
17:00～19:00 日本舞踊奉納
19:00～ 前夜祭神事
20:00～ 詩吟・剣舞

【例大祭】7月25日(木)

11:00～ 例大祭神事
13:00～ 穂高太鼓奉奏
14:00～17:30 御神輿御巡行
15:00～ お囃子スクール発表会
15:30～ 舞台出発

もうすぐ天神祭りです

八坂祭は、梅雨があけ夏を迎えるに際して病気除けや虫封じなど子どもたちで賑わい、あわせて家族で室内安全を祈る姿が見られます。

三百年前の元禄13(1700)年、松本地方に疫病が流行した時に、疫病除けの神として八坂祭には葭につけた五色の幟を奉納する多くの子どもたちで賑わい、あわせて家族で室内安全を祈る姿が見られます。

信仰を集めていた尾張の津島神社(天王社)から分霊をいただいて祀られました。なお、五色の幟と葭はスーパーな社でできます。

奉 納 八坂大神

(净書例)
○(生年の)年生 ○歳へ男(氏名)

八坂祭でお子様の健やかな成長をお祈りしましょう

7月14日(日)～15日(月)

